

耳かけ型補聴器 RT リサウンド・ワン

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
一般のお客様電話番号 ☎️ **0120-921-102**
販売店様専用電話番号 ☎️ **0120-921-310**
FAX番号 ☎️ **0120-937-134**
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分（土日祝日、年末年始は休み）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MM/パークビル8F
401771015 JP RT 02C 2203B KTG0687
ReSound GN

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、以下のように呼びます。

この取扱説明書での呼び方	リサウンド・ワン 9	リサウンド・ワン 7	リサウンド・ワン 5	リサウンド・ワン 4
88タイプ	RT988-DWC	RT788-DWC	RT588-DWC	RT488-DWC
88Hタイプ	RT988-DWHC	RT788-DWHC	RT588-DWHC	RT488-DWHC

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。**

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
-----------	-------------------------

【禁忌・禁止】

1. 次の場合、補聴器を使用しないでください。

- 耳を治療中の場合
- 耳の中に痛みがある場合
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
- 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
- 急性または慢性的めまいがある場合
- 耳あか、または異物の集積が明らかな場合

2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき
- 耳の治療が必要になったとき
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき

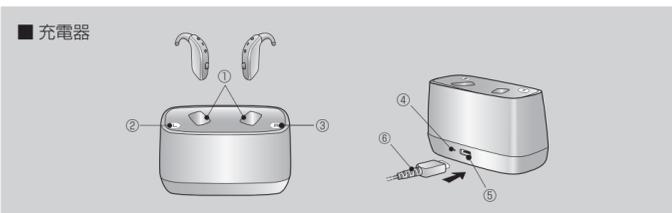
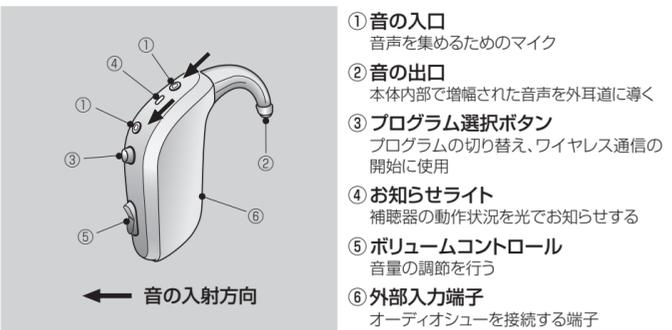
目次

はじめに
安全上のご注意

- 製品概要
 - 各部の名称と役割
 - 付属品一覧
- 基本的な使い方
 - 充電器の使用方方法
 - 電源の入れ方／切り方
 - 電池寿命お知らせ機能
 - 音量調節
 - プログラム変更
 - 電話での使用
 - スマートフォンアプリとの使用
 - スムーズホンの使用
 - テレコイルについて
 - 外部入力について
 - ワイヤレスアクセサリー
 - リサウンドアシスト連携サポート
- 使用上の注意
- リチウムイオン電池の使用
- 故障かな?と思ったら
- 性能表
- 音響諸特性
- アフターサービス

1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割



- 補聴器ポケット
- 左マーク（青）
- 右マーク（赤）
- 電源ライト
- 充電用ケーブル差込口
- 充電用ケーブル

1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）

※ □にチェックマークをして、ご使用前にご確認ください。

① 耳せん	② チューブ	③ イヤフック	④ マイクフィルター
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2個)	ジョイントチューブ (1本)	88タイプ:M/ L (各1個) 88Hタイプ:メタルフック(1個)	1ケース (8本)
⑤ 耳あか掃除ブラシ	⑥ 乾燥ケース	⑦ クリーニングクロス	⑧ 左右識別チップ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			※ 青が左用、赤が右用になります。

○ オプション（別売）

⑨ イヤモールド	⑩ オーディオシュー	⑪ オーディオコード	⑫ マグネット（スムーズホン用）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 基本的な使い方

2-1. 充電器の使用方法

使用前に、補聴器をフル充電することをお勧めします。

■ 補聴器の充電方法

① 充電用ケーブルを充電器の充電用ケーブル差込口に差し込み、反対側の先をコンセントに接続してください。

② 補聴器を補聴器ポケットに入れてください。右耳用の補聴器は赤い右マークのあるポケットに、左耳用の補聴器は青い左マークのあるポケットに入れてください。

③ 充電中は補聴器のお知らせライトがゆっくりと点滅します。充電が完了するとお知らせライトは点滅から点灯へ変わります。補聴器を充電器から取り外すと消灯します。

充電中点滅

充電完了後点灯

▲ 注意

- 安全のため、必ず付属の充電器、ACアダプター及び充電ケーブルをお使いください。他社製の物は正しく動作しない可能性があります。
- 充電用ケーブルの端子部分を折り曲げないようにしてください。また、端子部が曲がってしまった場合は、危険ですのでケーブルの使用を中止してください。
- 充電用ケーブルの端子部分や充電器のケーブル差込口に液体や異物が付着しないようにしてください。

※ 一晩中コンセントに差したままでも安全です。充電器も補聴器も過充電されることはありません。

2-2. 電源の入れ方／切り方

充電器から取り出すと、自動的に電源が入ります。電源が入った状態で、プログラム選択ボタンを5秒間長押しすると電源が切れます。電源が切れた状態でプログラム選択ボタンを5秒間長押しすると電源が入ります。

■ スマートスタート機能

補聴器を耳に装着する際に不快なハウリング（ピーピー音）を防ぐ為の機能です。この機能をオンにすると、電源を入れてもすぐには音が入らず、代わりにお知らせ音（ポーン、ポーン、ポーン…）が鳴ります。

2-3. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音（ポポポポーン）が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、補聴器を充電してください。

販売店で設定可能 **10秒／5秒／オフ**

■ ワイヤレスアクセサリー（オプション）使用時

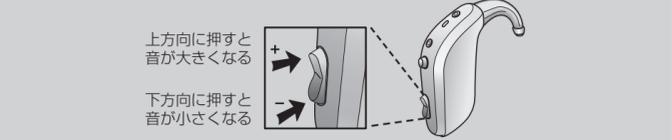
ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなるより前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。充電すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	シンプルリモコン リモコンユナイトII	TVユナイトII、 携帯ユナイトII、 マルチマイク、 マイクロマイク、 スマートフォンなど
(多)	—	○	○	○
(少)		○	○	×
(極少)		×	×	×

2-4. 音量調節

■ 音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。



※ ボリュームコントロールを押すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ポー」という音に変わります。
※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。

販売店で設定可能 **オン／オフ**

両耳連動機能使用時	販売店で設定可能 オン／オフ
片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。	

2-5. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。また、ワイヤレスプログラムも最大で3つ設定することができます。下記の操作をするたびに通常プログラム、またはワイヤレスプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

販売店で設定可能

プログラムの切り替え方法	ワイヤレスプログラムの切り替え方法
プログラム選択ボタンを押す	プログラム選択ボタンを3秒間長押しする

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ポーン	
プログラム2	ポーン、ポーン	
プログラム3	ポーン、ポーン、ポーン	
プログラム4	ポーン、ポーン、ポーン、ポーン	

電源投入時の設定	両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン／オフ
●「プログラム1」	片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

■ フライトモード（ワイヤレス機能使用時）

搭乗中に電波の使用を禁じられている飛行機内や、無線送信および電波を発する機器の使用が禁止されている場所では、補聴器をフライトモードに設定してワイヤレス機能をオフにしてください。（初期設定：オフ）

販売店で設定可能 **オン／オフ**

■ フライトモードの設定方法

- プログラム選択ボタンを5秒間長押しし、電源をオフにしてください。
- プログラム選択ボタンを9秒間長押ししてください。
- 「ポポーン、ポポーン、ポポーン、ポポーン…」というお知らせ音が鳴ると設定完了です。

■ フライトモードの解除方法

- プログラム選択ボタンを5秒間長押しし、電源をオフにしてください。
- 電源がオフになったことを確認し、再度プログラム選択ボタンを5秒間長押しし、電源をオンにしてください。

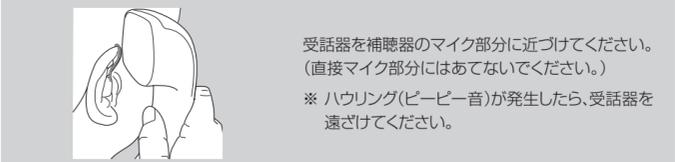
■ お知らせライト

LEDライトと音でプログラム変更と電源の入切をお知らせします。

動作	お知らせライト
電源を入れる(5秒間長押しする)	点滅
電源を切る(5秒間長押しする)	3回点滅
フライトモードの設定	4回、2重点滅

2-6. 電話での使用

本補聴器は、装着したままでも電話を使用することができます。



※ 本補聴器は、携帯電話からの電磁妨害に対する最も厳格な基準を守っています。しかし、すべての携帯電話と適合性があるわけではありません。もし、お持ちの携帯電話での聞き取りが悪かった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

2-7. スマートフォンアプリとの使用

リサウンドのスマートフォンアプリとリサウンドのワイヤレス補聴器はスマートフォン経由で信号を送受信します。リサウンドのスマートフォンアプリは、リサウンドの補聴器と使用するように設計されています。

- 通知をオフにしないでください。
 - アプリが正しく動作するように、アップデートを行ってください。
- リサウンド以外の補聴器に接続してもその動作を保証するものではありません。
※ Bluetooth対応のスマートフォンをお持ちの場合は、携帯ユナイトIIを使用して通話することができます。

2-8. スムーズホンの使用（オプション）

スムーズホン用のマグネットを取り付けた受話器を耳にあてると、お知らせ音が鳴り、自動的に補聴器が電話モードになります。受話器を耳から離すと、自動的に元のプログラムに戻ります。必要に応じて、受話器の最適な位置をお探しください。

両耳連動機能使用時	販売店で設定必要 専用プログラム
受話器を当てていない耳の音量が下がります。	

■ マグネットの取り付け方



▲ 警告

- スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-9. テレコイルについて

本補聴器には、テレコイルが内蔵されています。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのヒアリングループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときにご利用します。

また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受信器であれば、電話でお使いいただくことができます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 販売店で設定必要** **専用プログラム**

2-10. 外部入力について（オプション）

外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。オーディオシューを補聴器に取り付け、ケーブルもしくはワイヤレスFMシステムで音源に接続すると自動的に外部入力に切り替わります。

- 販売店で設定必要** **専用プログラム**

■ オーディオシューの取り付け方

- オーディオシューの先端を外部入力端子にしっかりとあててください。



■ オーディオシューの取り外し方

- オーディオシューの表面の取り外しボタンを押してください。



※ 本装置に接続される追加の機器は、それぞれIECまたはISO規格に適合したものをご使用ください。さらに、すべての構成は、医用電気システムの要求事項に適合させてください。医用システムは医用電気システムの要求事項に準拠しており、医用電気機器へ追加の機器を接続する場合、必ず医用システムを構築する責任が生じます。疑わしい場合は、ご使用の前にお近くの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- 1つのFMチャンネルで2つ以上の送信機を使わないでください。
- お手入れに、水や液体を使用しないでください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、FM送信機を使わないでください。
- FM電波は、他の受信機に受信される可能性があります。
- 外国でFMシステムを利用する際には、その国でそのチャンネルの使用が許可されているか事前にお買い求めの販売店にご確認ください。
- FM送信機の修理は、認定されたサービスセンターでのみ可能です。

2-11. ワイヤレスアクセサリー

リサウンドのワイヤレスアクセサリーは、高音質の音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。下記のワイヤレスアクセサリーがあります。

TVユナイトⅡ: テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。**シンブルリモン**: 補聴器の音量調整や消音、プログラム変更などができます。**リモコンユナイトⅡ**: 補聴器の音量調整や消音、プログラム変更などができ、すべての設定を一目で見ることがができます。**携帯ユナイトⅡ**: 通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなりモンコンとしても機能します。**マイクロマイク**: 話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れても相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。**マルチマイク**: マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。
※ リサウンドのワイヤレスアクセサリーはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。
※ ペアリング等の詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2-12. リサウンド・アシスト遠隔サポート

リサウンド・アシスト遠隔サポートを使用することにより、再調整が必要な時であってもお買い求めの販売店を都度訪問せず、専門家による再調整を遠隔操作で受けることができます。インターネットに接続可能なスマートフォンをお持ちであれば、このサービスを受けられますが、事前にお買い求めの販売店にて同意手続きが必要です。

- 補聴器の再調整が必要なときは遠隔サポートのリクエストを行ってください。お買い求めの販売店が遠隔で調整をし、変更したプログラムのデータをお届けします。このプログラムは、あなたの都合に合わせてインストールすることができます。
- 補聴器のアップデート機能を使うことにより、補聴器の性能を最良に保つことができます。補聴器ソフトウェアのアップデートがある場合はあなたの都合に合わせてインストール可能です。

⚠ 注意

- インストールおよびアップデート中は補聴器の機能はオフになります。
- 補聴器がリサウンド・スマート3Dアプリに接続されていることを確認し、iPhoneまたはAndroidスマートフォンの近くに置いてから、インストールおよびアップデートを始めてください。
- このサービスは、スマートフォンがインターネットに接続されている場合にのみ機能します。
- リサウンド・スマート3Dアプリとリサウンド・アシスト遠隔サポートに関する詳細情報はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 一部店舗では遠隔サポートは使用できない場合があります。対応については販売店にご確認ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装着者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

⚠ 警告

- お子様が触れないようご注意ください。**飲み込むと窒息の危険を伴う小さな部品を含んでいるので、幼児の手に触れさせないように願います。
- 飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- スムーズホン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリーと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器(有料オプション品)をご使用ください。**
- フィッティングを行う専門家の方への警告**
この補聴器は132dB SPL以上の出力がある場合があります。フィッティングの際には充分注意してください。

⚠ 注意

- 衝撃・熱を避けてください。**補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。
- 補聴器はいつも清潔にしておいてください。**就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。
- 適切な音量でご使用ください。**必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。
- 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。**この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装着してください。
- 補聴器を装着しても良く聞き取れない音もあります。**小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大さい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

- ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**耳せんがきちんと収まっていない場合や、抜けかけて隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、装着者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。
- 補聴器を装着して炎症が生じたら**—この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装着者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装着を中止し、医師へご相談ください。
- 低周波治療器・電磁(H)調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**
- <使用済補聴器の処理方法>**「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。ご不用になった付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ワイヤレス機能がオンになっているとき、ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使われます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。**
- ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因となるものから遠ざけてください。**
- サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。**
- 本装置に接続される機器は、IECまたはISO規格に適合したものをご使用ください。**

🚫 禁止

- 補聴器を水に濡らさないでください。**補聴器を装着したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔をさらないでください。
- 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。**
- 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**
- 補聴器を他人にお貸しにならないでください。**補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装着しても音量や音質が合わず聞こえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- 病院内の検査機器にご注意ください。**MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装着をおやめください。

- 充電器にクレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけないでください。**充電器には磁石を使った部品が内蔵されているため、磁気製品の記録に影響をおよぼすことがあります。

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用補内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。 <p>1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えるか、または使用を停止(電波の発射を停止)してください。</p> <p>3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービスまでお問い合わせください。</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">2.4 FH 1</div> <div style="font-size: 0.8em; margin-top: 5px;">2.400 2.427 2.470.75 2.483.5 MHz</div> </div> <div style="margin-top: 5px; font-size: 0.8em;">この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。</div>			

■ ㊦ 技適マークについて

本補聴器は電波法に基づき小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。したがって、本補聴器を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

4 リチウムイオン電池の使用

■ リチウムイオン電池についてのQ&A

リチウムイオン電池についての質問	回答
新しい電池はどのように準備したら良いですか?	充電電池は内蔵式です。予めセットされているものをお使いください。
不適切な使用で電池を破損することはありますか?	物理的に破壊したり、高温にさらさない限り破損することはありません。
必ずフル充電しなければなりませんか?	フル充電しなくてもお使いいただけますが、フル充電をすることで補聴器の使用可能時間が長くなります。
充電を中断することはできますか?	充電を中断しても、電池に問題はありません。
充電前に電池を使い切る必要がありますか?	この製品は毎日(一晩中)充電してお使いいただくことを想定しています。充電前に電池を使い切る必要はありません。
縦ざし充電でメモリー効果が起こり、起電力が低下する可能性がありますか?	縦ざし充電をしてもリチウムイオン電池に影響はありません。
フル充電後、補聴器を充電器から外す必要がありますか?	充電器に補聴器を一晩中セットしていても問題はありません。長期間補聴器を使用しない時は電源を切り、充電器から外して保管してください。
充電により充電電池の温度が上がりますか?	充電後、多少温度が上がる可能性があります。補聴器が0℃以下の場合には充電されず、0～10℃になった時にゆっくり充電を開始します。通常の充電は0～40℃で行われます。
低温下では、どのように充電したら良いですか?	動作環境は0～40℃です。
高温下で充電できますか?	各航空会社にお問い合わせください。
航空機内への持ち込みはできますか?	

5 故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。 充電されていない。 音の出口が詰まっている。 耳せんとチューブが正しく装着されていない。 レシーバ(が故障している。 チューブや耳せんが詰まっている。 装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。 設定音量が小さい。	プログラム選択ボタンを5秒間長押しして電源を入れてください。 充電する。 音の出口を掃除して詰まりをとる。 注意して装着し直す。 販売店に相談する。 販売店に相談する。 医師に相談する。 可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
ハウリング(ピーピー音)がする	耳せんとチューブが正しく耳に入っていない。 補聴器の設定が合っていない。 耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。 装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	注意して入れ直す。 販売店に相談する。 販売店に相談する。 医師に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	充電されていない。 プログラムの設定が合っていない。	充電する。 販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	フライトモードに入っている。 充電されていない。	フライトモードを解除する。 充電する。

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

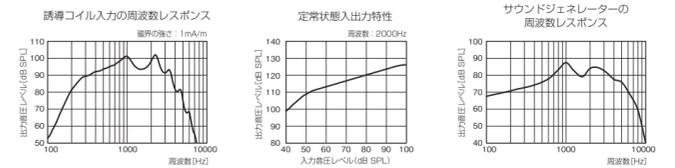
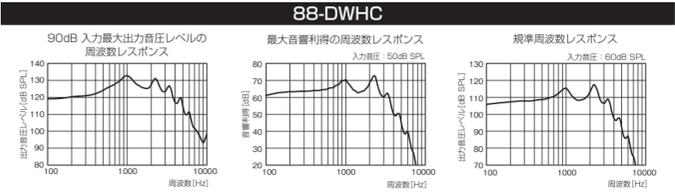
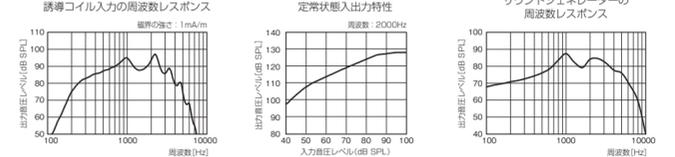
6 性能表 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

性能表	表示単位	88-DWC	88-DWHC	
		Plastic Hook 2ccカブラ	Metal Hook 2ccカブラ	
90dB入力最大出力音圧レベル	HFA-OSPL90 ピーク	±4dB SPL +3dB SPL以下	129 133	129 133
最大音響利得	HFA-FOG ピーク	±5dB +3dB以下	61 67	67 73
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下	20	20
全高調波ひずみ	500Hz	+3%以下	0.7	0.7
	800Hz	+3%以下	0.6	1.0
	1600Hz	+3%以下	0.3	0.4
電池寿命	Operating	時間	23	23
規準周波数レスポンス	帯域幅	Hz	100 - 5170	100 - 4970
	規準利得(RTG)	dB	52	52
試験用ループに対する等価感度		±4dB SPL	0	0
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL	92	97
定常状態入出力特性(2000Hz)	50dB入力	±5dB SPL	107.4	108.8
	90dB入力	(70dBで正規化)	127.1	123.6
	500Hz	±5dB SPL	76.1	75.9
サウンドジェネレーター機能最大出力音圧レベル	1000Hz	±5dB SPL	87.5	87.5
	2000Hz	±5dB SPL	84.1	84
	4000Hz	±5dB SPL	77.6	77.5
	ピーク値	±5dB SPL	87.5	87.5
広帯域最大出力音圧レベル		±5dB SPL	93.2	93.1
使用目的、効能又は効果			身体に装着して、難聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。また、耳鳴りによる不快感の軽減に用いること。	
使用時の環境条件			温度：0～45℃、湿度：90%RH以下(結露なきこと)、気圧：500～1100hpa	
電撃保護			内部電源機器 B形差着	
輸送・保管条件			温度：-20～60℃、湿度：90%RH以下(結露なきこと)、気圧：500～1100hpa	

※ ワイヤレス機能使用時は電池寿命が短くなります。

※ 約3時間充電の場合です。 ※数値は参考値です。

7 音響諸特性 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015



8 アフターサービス

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。

■ 修理について

- 保証期間中**保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。
- 保証期間後**お買い求めの販売店にご相談ください。修理いたします。お使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

「Made for Apple」[ツジ]は、iPhone、iPad、iPod touchに接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとテペロック[イ]によって認定された電子アクセサリであることを示します。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ **仕様について** 改良のため仕様、付属品は予告なく変更される場合があります。

※ **商標登録について** ©2022 GNヒアリングジャパン(株) 無断複写・転載禁止。Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。AndroidとGoogle Play、Google PlayロゴはGoogle LLC.の商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

Made for iPhone | iPad | iPod